

予 算 要 求 資 料

令和 7 年度 3 月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名【新】ぎふの米地消地産推進事業費（R 8 分）

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 流通企画係 電話番号：058-272-1111(内4062)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 3,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	3,000	1,400	0	0	0	0	0	0	1,600
決定額	3,000	1,400	0	0	0	0	0	0	1,600

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

2025年の米価高騰は、異常気象による収量減少、品質低下による精米効率の悪化、円安や資材高騰による生産コスト増、流通構造の変化などが複合的に影響し、過去最高水準となり、消費者や外食産業等に影響を与えている。米価高騰や供給不安の解消ため、米の生産拡大を推進するためには、販路拡大との両輪で進める必要がある。県産米の増産を支えるため、地域内での安定した生産・消費サイクルの構築が求められている。

(2) 事業内容

県内産の米の新たな販路先を確保するとともに、県民が地元で生産された米を積極的に消費することで、地域農業の持続可能性を高め、食料自給率の向上、県産米の消費機会創出の推進を図る。

①「ぎふの米」を使用している店舗の拡大

・ぎふ楽しい農業応援団(旧：地産地消ぎふ応援団)のうち、県産米を提供する飲食店を拡大し、農業への愛着を深める。

②直売所等での年間予約販売の拡大推進

・米の定期購入を推進する仕組みの導入又は拡充支援を行い、米の年間販売量の把握、計画的な販売・在庫管理を実施し、安定した消費先の確保につなげる

・生産から消費者に届くまでの流通経路の簡素化を図り、生産者の所得向上につなげる

・消費者との継続的な関係構築の推進

③公共施設・外食産業・社食等での利用状況調査

・公共施設、外食産業、社食、大学食堂等における県産米の使用状況を調査

・調査結果をもとに導入促進施策を検討

（３）県負担・補助率の考え方

米の生産拡大を推進するため、消費・販路拡大を推進することは米価高騰や供給不安の解消につながるため、県負担は妥当

（４）類似事業の有無

無

３ 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	81	
需用費	75	募集チラシ制作費
役務費	44	郵送費
委託料	2,800	利用状況調査、ステッカー制作費
合計	3,000	

決定額の考え方

４ 参 考 事 項

（１）各種計画での位置づけ

ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和８年３月策定予定）

＜基本方針３＞新たな流通ルートの開拓

（１）品目に応じた新たな流通ルートの開拓

（２）国・他県の状況

国：米穀周年供給・需要拡大支援事業

産地と中食・外食事業者等との安定取引を拡大するため、市場開拓に必要な取組を支援

国：米需要創造価値推進事業

米の消費量減少に歯止めをかけるため、米の付加価値への理解に繋がる、年代ごとの食生活や意識変化に対応した情報発信の取組を支援

（３）後年度の財政負担

県産米の需要拡大に向けて、継続して実施

（４）事業主体及びその妥当性

県産米の需要拡大に向けて、県が実施

事業評価調書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 地域内での安定した生産・消費サイクルの構築を推進するとともに、県民が地元で生産された米を積極的に消費することで、地域農業の持続可能性を高め、食料自給率の向上、県産米の消費機会創出の推進を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R8年度 目標	R9年度 目標	R10年度 目標	終期目標 (R)	達成率

○指標を設定することができない場合の理由

米の流通実態を調査する事業のため。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和5年度	<div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>
令和6年度	<div></div> <p>指標① 目標： ____ 実績： ____ 達成率： ____ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	米の生産拡大を推進するためには、販路拡大との両輪で進める必要がある
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 流通実態調査を踏まえ、今後の販路開拓等を検討する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	